

授業科目名	デスティネーション実習	担当教員	大社 充 高橋 伸佳 夏 世明 崔 光雄
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	実習		
開講年次	3 年 第 2 クォーター		
講義内容	豊岡市近郊には、近年インバウンド客が急増する城崎温泉や城下町の面影を残す出石、天空の城とよばれる竹田城跡といった人気観光地が点在している。本実習では、但馬近郊の行政機関をはじめ都道府県・市町村のDMO、さらに自治体の枠を超えて広域をカバーするDMO、またJALやKDDIなどの民間事業者といった機関のなかから実習先を選んで2週間程度の職業体験を行う。観光現場での体験をとおして観光地域づくりにおける取り組みの実際を学ぶことを目的とする。		
到達目標	観光まちづくり・観光地域づくりとはどのようなもので、どういった主体がどのような取り組みを行っているのか、行政機関やDMO・企業などの現場において実践的な体験を通して学ぶことが主たる目的である。また、観光地域づくりに関連する職業への認識を深め、将来の進路についても考える契機を得ることを目指したい。		
授業計画	1日目 「オリエンテーション・目標設定・基礎訓練・実習」 2日目～5日目 実習「現状分析・課題解決策検討」など 6日目 実習「中間報告（教員同席）」 7日目～9日目 実習「新規事業作成」など 10日目 「目標達成状況等報告会・施設長との意見交換（教員同席）」 実習中は当日の業務内容等を記載した日報を担当教員及び実習指導者へ提出する。実習後には、完了報告書を提出し、教員による指導を受けることとする。 なお実習先によって担うべき実習内容が異なる場合がある。		
事前・事後学習	職業体験として働いてみたい業種や職種に関して、事前に予備学習しておくことで、現場実習への導入がスムーズになり効果的な学習体験となります。		
テキスト	特になし		
参考文献	実習先に合致した参考文献を適宜、紹介する		
成績評価の基準	実習レポート（日報）（40%）、実習への取り込み姿勢や態度など実習機関の評価（40%）、実習報告書又はレポート（20%）		

履修上の注意 履修要件	
実践的教育	学外の臨地実務実習先の実習指導者から、実践的な指導を受けながら実習をすることから、実践的教育に該当する。
備考欄	